

中期経営計画「HOPE100－ステージ3－」の概要

HOPE100 Statement

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・発展させ、2023年には社内外が認める健全な健康生活
応援企業へと進化します。

「ステージ3」で目指す「健康生活応援企業」の
具体的な姿

革新的新薬の創製で世界に認められる企業を目指すために、新薬
事業、GE事業、感染関連事業（感染症の予防・診断・治療）を複
合的に展開し、人々の健康を幅広く応援する企業の実現を目指
します。



中期経営計画「HOPE100－ステージ3－」では、ステートメントとして「オリジナリティーの追求による成長トレンドの
実現」を掲げ、事業戦略と組織化戦略を推進し、成果目標の達成に取り組んでいます。

[Statement]

オリジナリティーの追求による成長トレンドの実現

▶事業戦略 Strategy

重点戦略	重点項目
1ソリューション提供型への 変貌と新薬群の成長加速	- 医療用医薬品事業と感染関連事業を複合した、ソリューション（課題の解決策）提供 型に変貌し、医療関係者に対してキョーリン独自の貢献をする - 新薬群の成長を最大限に加速する（フルティフォーム、デザレックス、ベオーバ、ラス ビック等） - ヘルスケア事業については、感染関連を中心とした事業に集約化する
2中期的な成長を支える、 パイプラインの拡充	導入対象疾患領域をフランチャイズカスタマー3科（呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科）周 辺、感染症、希少・難治性疾患とし、中期的な業績に寄与するパイプラインの拡充に 積極的に投資する
3革新的新薬の創製を実現する、 創薬力の強化	- 現行の重点研究領域・技術の重層化と、新たな研究領域・技術への挑戦を継続する - 新薬候補品の医療における価値を明確化し、研究開発を推進する - 自社でのPOC※取得を基本とし、早期のグローバル導出を目指す - 創薬シーズを積極的に獲得し、多様性を高める
4コスト競争力の向上	- ジェネリック（GE）営業体制の効率化によりGE事業のコスト競争力を高める - GE追補収載品の創出力を強化する - 安定供給と低コストを実現するとともに受託製造の拡大も可能にする、製造体制を 構築する
5海外収益の拡大	- グローバル導出を促進し、海外収益を拡大する - アジアへの直接的進出に向けたステップを着実に推進する

※POC：研究開発の段階にある新薬候補物質において、その有効性や安全性がヒトで確認されていること

▶組織化戦略 Organization

働きがい No.1企業の実現

▶働きがいNo.1企業の実現に向けて、次世代の会社を支える人材を育成・獲得する

▶成果目標 Performance

数値目標（連結ベース）

成長性：「売上高」年平均成長率＋5％以上
収益性：「研究開発費控除前 営業利益
（営業利益＋研究開発費）」対売上高20％以上

資本政策と株主還元

健全な財務基盤を維持しつつ成長投資と株主還元を通じて、資本効率の向上を図る
DOE（株主資本配当率）を勘案して、安定した配当を目指す

Information

杏林製薬株式会社の吸収合併及び商号の変更について

当社は2023年4月1日付けで、当社グループの主たる事業会社である杏林製薬株式会社を当社に吸収合併する
グループ内再編により純粋持株会社体制から事業持株会社体制に移行するとともに、当社の商号を「杏林製薬株
式会社」に変更します。

【合併の目的】

当社グループを取り巻く事業環境は、新薬創製の難易度が一層高まり膨大な研究開発投資が必要となるだけで
なく、幅広い製品を対象とした薬価改定が毎年実施され、当社グループの経営に多大な影響を与えることが予想
されます。

このような急激な環境変化と当社の置かれた状況に鑑み、事業推進機能及び経営効率の向上を図ることを目的
として、当社グループが創業100周年を迎える2023年度のタイミングで、グループ体制の刷新を行うこととし
ました。

当社グループは、新たに杏林製薬株式会社を中心とする事業持株会社体制に刷新することで、新薬事業をグ
ループ経営の中核に据えて強力に推進するとともに、ジェネリック医薬品事業、感染関連事業、医薬品製造受託
事業を複合的に展開し、次の100年に向けてさらなる飛躍を目指します。

【合併スキーム】

